

第2回交通WGの報告

第2回交通ワーキングの内容

- ・第1回交通WGの振り返り
- ・現状の補足
- ・第1回利活用WGの報告
- ・基本計画(交通面)の考え方(案)
- ・R6社会実験(案)の概要

基本計画(交通面)の考え方(案)

目指す通りの姿

歩いて楽しい 賑わいと交流が生まれる人中心の街並み

空間創出

利活用空間創出
歩行環境向上

現状

活用できる空間の不足



現行の車道の活用(再整備)

基本計画(交通面)の考え方(案)

2車線化・自転車空間設置案をベースに道路空間の再整備方針を検討



上記案を基に課題・論点等を整理していく

EX : 交通渋滞の抑制、バス・タクシー利用者・走行車の安全性の確保、
運送車両荷捌きスペースの確保・安全性、緊急車両の通行、
路上駐車車両の抑制、シェアモビリティ導入時の安全性の確保 など

第2回交通ワーキングの意見等(一部)

R6社会実験(案)の概要について

- 歩道と車道の間にはガードパイプがあるので、歩道と利活用空間との行き来ができないのでは。ガードパイプを外す際も、縁石の段差の処理などを検討してほしい。
- 自転車通行空間は、歩道上に利活用空間を生み出すことを考えると、車道上で自転車の分離をすることを基本として考えていきたいと思う。
- バス停の直前のところに、自転車の一時停止をお願いする看板等の注意喚起をお願いしたい。
- 利活用空間から子供が飛び出してくることなどがないように、安全に配慮してほしい。
- 自転車通行帯を設置したなかで、宅配の車などの路上駐車をどう考えていくかは、安全上配慮が必要な事項である。
- 国道286号や接続する周辺道路も含めて、広い範囲で交通量調査が必要だと思う。

詳細は議事概要をご確認ください